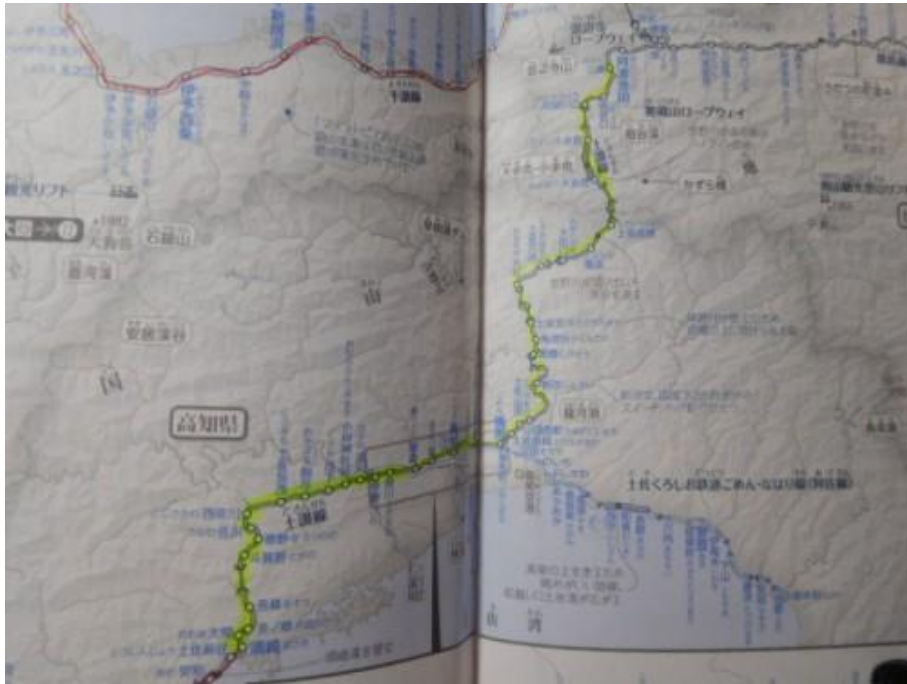


第2章 土讃線（須崎～阿波池田）

下記の日程で土讃線つたい歩き（須崎～高知～阿波池田：営業キロ 124.8 km）そして墓参りなど充実した時間を過ごさせて頂く。土讃線は多度津～高知～窪川までの営業キロ 198.7 km。



お蔭様で、鉄道つたい歩き旅では、天や神のご加護を得て、一時大雨や灼熱の太陽の下の悪環境にも関わらず、当初予定していた須崎から阿波池田までの土讃線の間にある”[42 駅舎の立ち寄り](#)” にすべて成功する。今回も有言実行でき嬉しい限り。今回の旅で窪川～阿波池田までの 152.8 km が繋がる。これで通算営業キロは 1 万 352km（活動日数 510 日）となる。

同時に 47 都道府県のうち、徳島県の足の踏み入れが新たに加わり、40 都道府県となった。「[全国鉄道つたい歩き達成](#)」に向け、残るは、秋田・山形・鳥取・島根・大分・宮崎・長崎の 7 県だ。一日でも早く達成したいものだ。



○8月6日(火) 雨/曇り/一時大雨

高知 5:39 → 須崎 7:11

須崎～大間～多ノ郷～吾桑～斗賀野～襟野々～佐川～西佐川～土佐加茂～岡花～日下～小
村神社前～波川～伊野～枝川～朝倉～高知商業前 (37.4 km)

高知商業前 20:36 → 高知 20:50

ホテル No. 1 高知 泊

○8月7日(水) 曇り時々小雨

南風6号 高知 8:01 → 大歩危 8:49

大歩危～土佐岩原～豊永～大田口～土佐穴内～大杉 (21.7 km)

大杉 17:57 → 高知 19:04

ホテル No. 1 高知 泊

○8月8日(木) 晴れ

しまんと2号 高知 4:51 → 大杉 5:23

大杉～土佐北川～角茂谷～繁藤～新改～土佐山田～山田西町～土佐長岡～後免 (29 km)

後免 15:50 → 高知 16:06

高知 16:19 → 高知商業前 16:31

高知商業前～旭～円行寺口～入明～高知 (4.7 km) ※8月6日分の遅れのフォロー

ホテル No.1 高知 泊

○8月9日(金) 晴れ

しまんと2号 高知 4:51 → 大歩危 5:41

大歩危～小歩危～阿波川口～祖谷口～三縄～阿波池田 (21.6 km)

南風14号 阿波池田 13:22 → 琴平 13:45

琴電乗り換え 琴電琴平 14:13 → 瓦町 15:08

ホテル No.1 高松 (087-812-2222) 泊



♪……♪……………

○8月10日(土)～8月12日(月) 墓参りなど(実家泊り)

○8月13日(火)

マリンライナー26号 高松 11:10 → 岡山 12:02

のぞみ24号 岡山 12:52 → 新横浜 15:55

第2節 1日目：8月5日（月）：後免～高知 晴れ

後免(12:20)～土佐大津(13:37)～布師田(14:26)～土佐一宮(15:00)～

薊野(あぞの、15:51)～高知(16:35)



のぞみ5号（岡山駅） 南風5号（岡山駅）

2019年8月5日（月）から始まる土讃線の旅の初日は、後免から高知までの営業キロ10.4 kmに挑戦する。この間に登場する駅舎は、土佐大津、布師田（ぬのしだ）、土佐一宮（いっく）、薊野（あぞの）の4駅。当初”大人の休日・ジパング倶楽部”を活用して、新横浜から岡山までの移動を”ひかり”で考えていたが、岡山から後免へのアクセスを考慮し、急遽”のぞみ”に切り替えた。その結果、後免には12時20分到着した。2日目以降の日程や土佐山田から後免までの鉄道に沿った路筋を考慮すれば、後免から高知（10.4 km）ではなく土佐山田から高知（15.3 km）でもよかったと反省また反省。一方では、2年前の8月10日、高知から多度津までの土讃線を車窓から観察していたが、まったく記憶にはなかったのやむを得ないと自問自答。そのようことを考えながら、12時20分過ぎ後免駅をスタートする。



後免駅



長曾我部元親公 後免駅

後免駅には、室戸岬方面に向かう「土佐くろしお鉄道なはり線」（後免～奈半利）と伊野方面に向かう「とさでん交通」があった。それ故、土佐大津駅界限まで左手に「とさでん交通」を観察しながらの歩きとなる。後免駅から少し行った先で「うどんごめん」で昼食（12時53分）とする。昼食をとるのは、上りである5日目の阿波池田駅の2日間となった。最近では、昼食をとらないパターンが増えている。ランチ時間の節約、体調への配慮、夜の晩酌への配慮などを理由に。13時22分、路面電車の通り、鉄道に沿った路筋（県道374号）の分岐点で、直進すべきか右折すべきか迷う。念ため信号待ちの方にお伺いする。「右折し真っ直ぐ行った先に土佐大津駅はあります」と。この方とは、布師田駅界限で後程お会いする。13時29分、とさでん交通の長崎北バス停前を通過。土佐大津駅には13時37分到着。

13時51分、直進すべきか踏切を渡るべきか迷う。概略な地図では踏み切を横切って狭い田圃道を進むような行程となっていた。念のため地元の人に確認する。「真っ直ぐ進んで川を横切った先にあります」との回答を得る。農道の道筋は地割れを起こしていたが、コータールでひび割れを補修していた。鉄道と川が絡む複雑な道筋が続いていた。14時8分、土佐日記工場前を通過。14時16分、橋の中央に、第26回布師田納涼祭（8月17日（土））の掲示物があった。



とさでん交通

うどんごめん



土佐大津駅、土佐日記の工場

布師田駅（14時26分）は川に沿って駅舎があった。この駅は幹線道路から外れていたの
で結構難しかった。駅舎を見つけるが、駅ホームに繋がる入口が見当たらず右往左往する。
結果的には土手に上り、土手から5m位階段を上った先にあった。ある意味では、8月8日
立ち寄った土佐北川駅にも少し似ていた。駅前には民家は全くなかった。土佐日記工場
のために設けられた駅かも知れないと。この駅辺りで雲が多くなる。14時36分、高知運転所
があった。沢山の車両が停まっていた。その近くで稲刈りをしている場面にも遭遇。

14時45分、布師田駅界隈で土佐大津への道筋を聞いた人と対面し、「うまく土佐大津駅
は踏破できましたか」と車の窓から声を掛けられる。嬉しい限り。また、土佐一宮駅（15
時）を過ぎたところで、小学校1年生の坊やと対面し、「自転車で迷子となった。母親と
連絡を取りたいがお金がない」と。それ故、母親の携帯番号を教えてもらい、電話してあ
げるといふ場面にも遭遇。坊やには「アート引越しセンターの高知支店前までお母さんに
迎えに来て」と言いなさいと助言する。薊野駅への踏破は、携帯によるナビで対処する。
少し道筋からそれていた。地元の人とナビの活用により、やっと15時51分薊野駅に到着
する。16時7分、橋を渡る。16時25分、鉄道下を潜る。花道を歩いて、高知駅には16時
35分到着。



布師田駅



土佐一宮駅 薊野駅

高知駅に到着するや否や、夕立となる。やむを得ずタクシーでホテル No. 1 高知まで移動する。ホテルから5分位先の屋台で夕食をとろうとするが、「営業時間は20時から」ということで断念。ホテルで酒屋（ミキヤ）で買った地酒で祝杯をあげる。充実した一日であった。その2（須崎～高知商業前）に続く・・・。



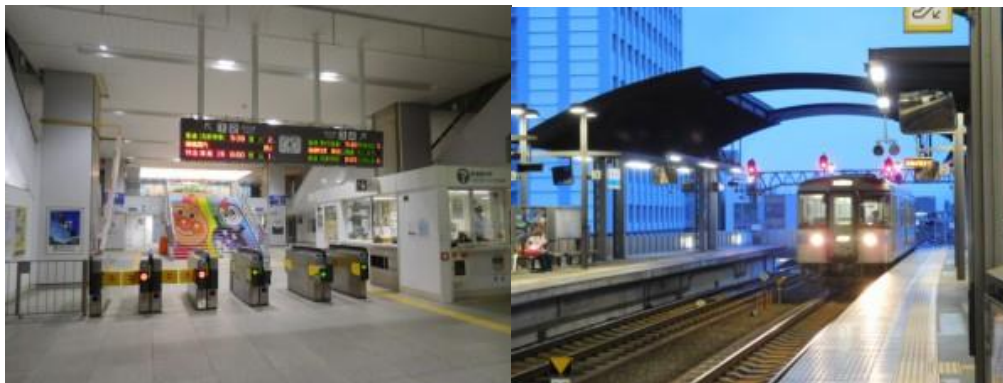
高知駅 左から武市半平太、坂本龍馬、中岡慎太郎の像



ホテル界隈の”ミキヤ” 土佐の地酒”久礼”と”酔鯨

”

第3節：2日目：8月6日（火）：須崎～高知商業 雨



高知駅

2019年8月6日（火）、二日目の土讃線の旅は、須崎駅から高知商業前駅までの営業キロ 37.4 kmに雨空の模様の中挑戦する。当初は須崎駅から高知駅までの 42.1 kmを考えていたが、雨と暗闇から、4.7 kmを残し高知商業前駅で断念する。高知商業前駅には 19 時 52 分到着。19 時 35 分の列車に乗り遅れたため、次のダイヤは 20 時 36 分であった。そこで暗闇と雨の中、高知駅まで歩くことも考えた。しかし、暗闇の中での鏡川越えで精魂尽き果てる。悔しいがここでアップ。不案内の道筋は色々リスクが大きいと判断。結果的にはこの英断は大成功であった。ホテルに帰るや否や、この遅れをどこで取り戻すかを考え続けた。何としても有言実行したいためである。推敲に推敲を重ねて、三日目または四日目でリカバリーできればと考える。



須崎駅

須崎から高知商業前の到着時間は次の通り。

須崎 (7:16) ~大間 (7:45) ~多ノ郷 (8:02 : おおのごう) ~吾桑 (8:57 : あそう) ~斗賀野 (11:12) ~襟野々 (11:56) ~佐川 (12:26) ~西佐川 (13:07) ~土佐加茂 (14:15) ~岡花 (15:10) ~日下 (15:45) ~小村神社前 (16:29) ~波川 (17:15) ~伊野 (17:55) ~枝川 (18:25) ~朝倉 (19:19) ~高知商業前 (19:52)



大間駅 多ノ郷駅 (少し離れて) 多ノ郷駅



吾桑駅 (小高い丘の上にあり)

本日の記録メモは次の通り。高知駅に2番ホームから窪川行ワンマンカー（2両編成）が発車。雨模様の中、車窓から鉄道に沿った路筋を確認しながら須崎駅に向かう。高知商業駅前と朝倉駅の間、そして伊野駅と波川駅の間には川があり、伊野駅と高知商業前駅の踏破は難しいと察知。斗賀野駅から吾桑駅にかけてトンネルがあり、この区間の歩きも難しいと察知。旭駅、日下駅、西佐川駅、斗賀野駅で上り列車との離合があった。



斗賀野駅への路（歩いてても歩いてても山道）

斗賀野駅

2年前に踏破した須崎駅には7時11分到着し、駅の周辺をデジカメに収め、大間駅に向けてスタート。雨は降ってはいないが、間もなく雨が降りそうなお天気であった。鉄道に沿った路地を歩く。7時45分、須崎工業高校の看板を見つけるや否や、踏切に面して大間駅（7時45分）があった。道なり歩いた先に、多ノ郷駅（8時2分）があった。暫く路地歩きを楽しむ。8時15分右手に水田があるかと思うと、8時19分稲刈り間近な田圃があった。好対照で強く印象に残った。8時26分、路地歩きは終わり国道56号線に合流する。

8時40分、ガソリンスタンドのところでY字型の分岐点があり、直進すべきか左手の道路に進むべきか右往左往する。ガソリンスタンドの従業員の方に教えて頂き、左側の道路に進む。吾桑駅（8時57分）は大きく道路を回り、高台にあった。先程、Y字路にあったガソリンスタンドが小さく見えた。9時5分、須崎市立吾桑小学校があった。9時11分、国道494号小浜交差点を通過。山道を上がった先で、地元の方にお会いしたので、この路を直進して行けば、斗賀野駅に到着できるか否かを確認する。「行けますけど、遠いですよ。いくつかのトンネルを潜った先にあります」と。9時14分、佐川の地目を通過。9時25分、90mある宮が谷トンネル（380歩）手前到達。9時38分、桃木坂トンネルを通過する際、手提げのビニール袋が飛ばされ、回収作業をするハプニングが生じる。斗賀野トンネル前でY字路があり、誤って斗賀野峠方面に進もうとする。少し行った先でナビを確認したところ、誤った方向に進んでいることに気がつく。およそ20分時間をロストする。10時31分、1067mある斗賀野トンネル前に到達。10時57分、高知県畜産試験場があった。

11時6分、白倉神社があった。11時12分、やっと斗賀野駅に到着。5.2km踏破にロス時間を含め2時間15分要する。道なりに歩き、襟野々駅には11時56分到着。



襟野々駅 佐川駅（特急停車駅）

雨の中を集中力が散漫となるが、佐川駅を目指す。永野踏切（12時8分）を横切り鉄道の右側となる。幹線道路と鉄道の間に川があった。12時18分、再度春日踏切を横切り、鉄道の左側となる。雨が強くなる。特急が停車する佐川駅には、12時26分到着。12時45分、雨が強くなり、5分位商店の軒下を借りて雨宿りする。12時51分、佐川町立佐川小学校前を通過。13時5分、懐かしいフコク生命たばこ看板前を通過。13時7分、西佐川駅に到着。この駅舎には、待合室等を改良し、仁淀ブルー観光協議会があった。この駅で本日の歩きを断念も考えたが、天気のリcoveryを期待し、もう少し歩くことにする。



66歳までお世話になったフコク生命（懐かしや！！たばこ看板）、西佐川駅

歩いて暫くすると、薄曇りとなり一時は「やった」という心境にもなったが、引き続き本日の終着駅となった高知商業前駅まで、降ったり止んだりの繰り返しの天気となった。

13時45分、JR下トンネルを潜る。このトンネルを越えた先で薄日となる。14時15分、土佐加茂駅に到着。14時58分、高知19km、伊野9kmを記した道路標識前を通過。15時7分岡花駅が見えるが駅舎に到着できず、暫く右往左往する。やっと幹線道路から繋がる路を発見し、15時13分岡花駅に到着する。



土佐加茂駅

岡花駅

15時18分、雨上がり国道33号線を歩く。15時45分、ほぼ道路に面して日下駅があった。15時56分、64歩ある日下橋を渡る。16時5分、ローソンに立ち寄り、アイスと菓子パンを購入。16時14分、国道33号線で高知まで15km地点(日高村)に到達。16時18分、7月末の知多半島の旅に引き続き蝉の声を聞く。16時25分、右手に列車を捉える。16時29分、小村神社前駅に到着。



日下駅

小村神社前駅

16時34分、国道33号線日高村下分を通過。16時42分、いの町に入る。その手前に六分坂バス停(土佐電鉄)があった。16時46分、高知まで13km地点に到達。波川駅への道筋は外れていた。ナビと地元の人のお世話になり、軌道修正する。17時10分、寺尾踏切を横切り、鉄道の右側になる。踏切から波川駅が見える。17時15分、波川駅に到着。



波川駅 宇治川越え

波川駅から伊野駅の間には、834 歩ある仁淀川（いの大橋）があり時間を要する、17 時 49 分、いの町立伊野中学校があった。17 時 53 分、吾妻踏切を横切り鉄道の左側となる。17 時 55 分、伊野駅に到着。ここから、とさでん交通を左手にして歩く。18 時 23 分、高知県運転免許センター案内板前を通過。18 時 25 分、枝川駅に到着。辺りは薄暗くなりつつある。ここから朝倉駅は遠かった。18 時 45 分、高知まで 7 km 地点に到達。18 時 52 分、右手高台に列車（下り）の音を確認。18 時 55 分、JR 下を潜る。左手にはとさでん交通の連絡路があった。幾つかの駅を見ながら進む。19 時 19 分、やっと朝倉駅に到着する。ここでやめるべきであったが、高知商業前駅を目指す。朝倉駅と高知商業前駅の間には、鏡川（新鏡川橋）が横たわっていた。これまでの経験を生かし、暗中模索で高知商業前駅を目指す。橋を渡るや否や鉄道に近づく。偶然にも自転車に乗った地元の方にお会いし、何とか高知商業前駅（19 時 52 分）に辿り着く。親切にも、「直進ではなく、左手の路に進むべきです」と引き返して教えて頂く。感謝感激。暗闇かつ雨、高知商業前駅でアップする。高知まで 4.7 km あるが、その間に立ち寄り駅舎が 3 駅あり、とても立ち寄るには難しいと判断したからだ。本日の営業キロは 37.4 km、万歩計で 83,803 歩となった。少し、不燃焼となった気持ちもあったが、悪天候の中、よく健闘した一日であったと思いたい。そんな気持ちで 20 時 36 分の列車で高知駅へ。



伊野駅 枝川駅

このコースで難所であったのは、吾桑から斗賀野までの営業キロ 5.2 km 区間。山道を上ることを余儀なくされた。途中分岐路があり、どちらの道筋に進むか迷った。ナビを使用しても、誤った路筋を 10 分位進もうとしていた。再度ナビで点検して、自分が誤った方向に進んでいることに気付く。引き返しに 10 分位要す。終始、雨があがったり、強くなったりしながらの行程であったので、集中力を維持するのに神経を費やした。また、西佐川駅手前で大雨となり、商店の軒下をお借りして雨宿りする場面も発生。たまたま、この商店の境界の交差点で直進ではなく、右折を余儀なくされた。閉店にしている店の女将さんに「西佐川駅はまだですか」と問い合わせが大成功。もし、聞いていなければ誤った方向に進んでいたかも知れない。胸を撫で下ろす。

西佐川駅でまた雨が強くなり、この駅でウォーキングの中止も考えた。駅構内にはインターネットを活用した仁淀ブルー観光協議会の事務所があった。この職員さんに、本日の天気について質問。しかし、不明のまま終了。残された時間も多々あるので、取りあえず「次の土佐加茂駅まで歩き判断します」と回答。一時は薄日も瞬間的にさしたが、またも雨空となる。土佐加茂駅に到着して、「高知駅まで歩こう」と闘志がわいて来る。

本日は台風が西にそれた影響で、大雨、小雨、曇りの 3 色での歩きとなったが、天や神のご加護を得て、終始 24℃ と涼しい環境であったので歩きやすかった。ホテルに着くや、昨日のリベンジを達成するため、ホテル境界の屋台で祝杯をあげたあとホテルへ。今日も充実した一日を過ごさせて頂く。



朝倉駅への路（とさでん交通と対面）、朝倉駅、高知商業前（鏡川越えて疲れる）



ホテル界隈の屋台

ホテル No. 1 高知

第4節：3日目：8月7日（水）：大歩危～大杉 曇り



高知駅（南風6号）

大歩危駅

2019年8月5日（月）から3日目の旅は、大歩危～大杉までの営業キロ21.7kmの旅である。高知駅を8時1分発の南風6号での移動のため、ホテルNo.1ホテルで4泊中初めて朝食をとるゆとりができる。そして、本日の歩きに臨む。大歩危、小歩危は遠い昔、小学校6年生の修学旅行で列車の窓から風光明媚な光景が脳裏に焼き付いていた。まさか、ウォーキングでその光景を確認できる機会になるとは夢にも思っていなかった。それが、現実を帯び感謝やら嬉しい気持ちで一杯となった。天や神のご加護もあり、本日はほぼ終始曇りマークで涼しかった。山間のある場所で温度計21℃という地点もあった。



大歩危駅、こなき爺が歓迎してくれる



大歩危駅

大歩危駅に到着するや否や、ゲゲゲの鬼太郎でお馴染みの”こなき爺（徳島県出身）”が駅長のスタイルで登場している姿が強く印象に残った。また、外国人の観光客の姿が多いのにも驚く。大歩危駅を種々のアングルからデジカメに収め、土佐岩原駅に向かってスタート。各駅駅舎の立ち寄り時刻は次の通り。大歩危（8:54）～土佐岩原（11:04）～豊永（12:14）～大田口（13:31）～土佐穴内（14:45）～大杉（16:24）



大歩危駅を過ぎた先の景観



土佐岩原駅への大岩橋

土佐岩原駅

駅舎への立ち寄りの状況は次の通り。

これまで、高知駅からの土讃線の方角を勘違いしていた。右手が後免方向であると思っていたが、正しくは伊野方面であることを。大歩危駅周りを種々のアングルで撮影し、駅前の螺旋状になった道路を通り、土佐岩原駅に向かって8時54分スタート。幾つかの土産屋があった。鉄道に沿って吉野川が流れており、対岸の国道33号線には大歩危橋(271歩)を渡る必要があった。9時12分、高知61km、大豊22kmと記した道路標識があった、9時21分、下名小学校、幼稚園前を通過。9時29分、国道32号線で高知まで60km地点に到達。苔の歩道と苔の壁が続く。本日は雲路空で木陰が多々あり涼しい道中になると想定。9時36分、龍三橋を通過。9時40分、下名第一洞門(115歩)を通過。9時40分、68歩ある下名第洞門を通過。10時6分、144mある下名トンネル前に到達。高知まで57kmの先で徳島県三好市と高知県大豊町の県境がある。この境界も道路に亀裂があるのをコールトールで修復していた。10時25分、左手に流れの速い吉野川があった。10時41分、大久保洞門があった。洞門の外にある歩道110歩を歩く。国道32号線に沿って随所に釣場口がある。人が立ち寄らないのか草で階段を覆っていた。

10時52分、高知まで55km地点に到達。対岸の山間1に民家が見えて来る。10時58分、173歩ある大岩橋を渡る。11時4分、土佐岩原駅に到着。地図をロストに気付くが、11時10分、大岩橋の上で発見。ホットする。11時13分、この境界で初めてゴムボートを発見。11時17分、TOPSがある。先程見かけたボートの起点はこの施設であろう。11時31分、辺り一面に霧が発生。11時44分、24℃の温度計前を通過。少し小雨模様になるが、11時51分上がる。11時56分、高知51km、南国41km地点に到達。とんぼが辺りに一杯。12時、豊永大橋(177歩)を通過。12時のサイレンと同時に、前方を上り特急電車が通過して行く。豊永駅には12時14分到着。木下君から斗賀野駅境界に引き続き携帯に連絡あり。12時22分、高知銀行があった。12時25分、別の橋を渡り、大田口駅を目指す。この辺りは、川、鉄道、道路が複雑に絡み合っていた。12時27分、豊永踏切を横切る。橋を渡った先で、12時29分、高知49km、南国39kmと記した道路標識を通過。



豊永駅界限

12時35分、グリーンの橋（169歩）を渡る。橋の下にはゴムボートがあった。2時41分、大豊町安野々地区を通過。13時24分、今度は赤い橋（170歩）を渡る。橋を渡った先に大田口駅があった。13時47分、高知まで46km地点を通過。14時1分、高知45km、南国35kmと記した道路標識前を通過。14時15分、国道32号線上にある吉野川橋（349歩）を通過。ここから吉野川が分岐して、吉野川と穴内川となる。橋の下にはゴムボートがあった。これから穴内川沿いを歩く。14時32分、寂れた赤い橋である大豊橋（198歩）を渡る。地形が複雑であったので、ナビで方向を確認する。この橋から土佐穴内駅までの道のり遠し。不安にかられ、何にもの地元の聞きながら進む。橋から1km位あっただろうか。やっと土佐穴内駅に14時45分到着する。対岸の道路まで100m位であるが、遠回りを余儀なくされる。道のりの中に、妙泰寺があった。地元の人々の助言を受けて、再度は大豊橋まで引き返す。14時58分であった。

15時3分、高知まで43km地点通過。15時8分、対岸を走る特急車両を捉える。15時47分、穴内川に沿った道路下に水田や畑を見つける。水田に水を入れたり、稲刈りなどに相当の負荷を要すると推察された。15時51分、高知自動車道大豊まで2km地点の標識前を通過。15時55分、コバルト色の穴内川を捉える。16時6分、道路下に鉄道あり。道路がY字形になっていたの、狐につままれたような心境になる。今度は頭上をJR線路が登場。16時13分、高知39km、南国29km地点に到達。16時45分、大豊町役場前を通過。16時21分、大杉大橋（91歩）を渡る。その先に大杉駅（16時24分）がある。丁度、定期バスがやって来る。17時57分の列車で高知駅へ。本日の営業キロは21.7km、万歩計で41,926歩だった。

また、本日の歩きで印象に残ったのは次の通り。

①鉄道と国道32号線の間で吉野川が流れていた。吉野川の流れが緩やかな箇所では、吉野川の景観を楽しむゴムボートの姿があった。



吉野川橋界限（土佐穴内駅界限）

② 駅舎に立ち寄るには橋を渡る必要があった。大歩危橋の場合、万歩計で271歩。また、原則通り抜けができず、再び同じ道を引き返すことを余儀なくされた。ただし、豊永駅には別の橋で通り抜けできた。



豊永駅界限



大田口駅への橋 大田口駅

③大歩危駅と土佐岩原駅の間に徳島県（三好市）と高知県（大豊町）の県境があった。非常に恥ずかしい話であるが、大歩危は高知県と思い込んでいた。



徳島県と高知県の県境

④大歩危境界の道路は、人も通らないのか、歩道と石垣には苔で覆われていた。



⑤踏破に苦労した土佐穴内駅の手前で吉野川が分離し、穴内川となっていた。ナビを頼りに歩くが、数人の方の地元の人のお蔭でこの駅をやっと踏破できる。また、この駅を踏破して対岸の国道 32 号線に戻るに、20 分位要した。



土佐穴内駅への橋、土佐穴内駅



対岸の土佐穴内駅界限（国道 32 号線より）

⑥大杉駅で約 1 時半の待ち時間が生じたので、次の営業キロ 6.1 km 先にある土佐北川駅への踏破も考えたが、土佐北川駅には特急が停車しないこと、1 時間半で土佐北川には到達は難しいと考え断念。お蔭様で待ち時間を利用し、駅員さんに明日の秘境駅”新改駅”の踏破に関し、お伺いする時間を得られる。



大杉駅

大杉駅

大杉駅から高知駅に向かう列車には、旅行用の荷物も持った大勢の若い女性の姿があった。途中、後免駅で停車している際、下車して”ごめん”という名称を背景に記念写真を撮り合っていたのが印象深い。高知駅には 19 時過ぎに到着したので、8 月 9 日（金）、高松でお会いする街道歩きの名人高野氏（2017 年日本縦断を私と同時期達成）のお土産を購入するため、8 月 5 日夜立ち寄ったホテル界限にある土佐の地酒屋”ミキヤ”に立ち寄る。

女将さんから私のにぎにぎしい帽子（カッシー館/全国鉄道つたい歩き/日本縦断達成/1万キロ達成）を見て驚く。ご主人も含め、10分位、これまでの歩きに関し会話が弾む。嬉しい至福のひと時であった。



ミキヤの御主人（森尾圭介氏）
088-873-3186

この夜の祝杯は、ホテルからのお薦めの店”ぽん太”（桃太郎）で本日の疲れを癒す。大杉駅で1時間半程、貴重な時間を浪費したが、充実した一日であった。その4（大杉～後免）に続く・・・。



高知駅、ホテルへの道筋

第5節：4日目：8月8日（木）：大杉～後免

高知商業～高知 晴れ



高知駅、大杉駅・・・しまんと2号



大杉駅、大杉駅前の橋、日本一の杉

2019年8月5日（月）から始まる4日目の旅は、大杉～後免（29 km）と8月6日未踏破となった高知商業前～高知（4.7 km）に挑戦する。この日は久しぶりに晴れとなった。それ故、真夏のウォーキングの醍醐味の暑さ対策（濡れタオルの着用と十分な水分補給）が余儀なくされた。しかし、涼しい山間が多かったため、雨傘をさす場面には至らなかった。当初は高知を南風4号（7時発）を考えていたが、8月6日分の遅れを何とか挽回したため、約2時間早い“しまんと2号”（高知発5時41分発）に切り替え臨む。天や神のご加護を得て、お蔭様で未踏破区間を踏破できる。



高知まで 32 km の国道 32 号線、土佐北川駅に繋がる橋、土佐北川駅

各駅舎の立ち寄り時刻は次の通り。

大杉 (5:26) ~ 土佐北川 (7:21) ~ 角茂谷 (8:10) ~ 繁藤 (9:11) ~ 新改 (11:56) ~ 土佐山田 (14:00) ~ 山田西町 (14:25) ~ 土佐長岡 (15:02) ~ 後免 (15:27)

高知から高知商業前までは列車で移動。

高知商業前 (16:32) ~ 旭 (17:10) ~ 円行寺口 (17:43) ~ 入明 (18:00) ~ 高知 (18:22)

今日も色々な出来事と対面した。

①朝、高知駅の風景をデジカメに収めようとした関係で、駅前の広場で大切な記録メモ帳やウォークマンなどが入ったビニール袋をロストしそうになる。コンビニで朝食の購入により、2つのビニール袋となったこともある。しかし、駅に入るや否や気が付き、清掃の方がゴミ袋みの中に入れて直後だったので、タイミングよくセーフとなる。これまでメモ帳は幾度となくロストしそうになったことは多々あるが、天や神のご加護を得て、全てセーフ。今回もこのジンクスが起きた。私にとってメモ帳は、ブログの投稿や旅行記をまとめる際の要となるので宝物なのだ。それ故、ホットする。

②土佐北川駅は穴内川の上にあり、ユニークな駅舎であった。一方では駅舎創設に莫大な費用がかかったと推察された。



土佐北川駅

③角茂谷駅は川を渡った先にあり、再度原点への戻りが要求された。繁藤駅界限には災害の記念碑があった。



角茂谷駅 対岸からの角茂谷駅



繁藤駅界限の災害記念碑、高知線の歌、繁藤駅

④繁藤駅から新改駅への道のりは、国道から鉄道が大きく乖離し、難解また難解のコースであった。昨日、大杉駅の駅員さんに教わった「森林公園に向かって歩く」が頭の片隅に残っていた。それ故、運よく森林公園に向かう手前で交番があり、ここに立ち寄り新改駅への道筋をお伺いする。奥様が居られ、詳細な地図を紐解きながらポイントポイントを教えて頂く。それ故、平山までは山道をひたすら下り下りの連続で辿り着く。10時42分、民家が見えてから地元の方の応援を受け、朝倉商店、ダムを通り抜け、一山上がった先に秘境”新改駅”があった。ホッとする。この駅の踏破は、3年前の函館本線の秘境”姫川駅”（現在廃駅）を思い出した。私にとって、新改駅は姫川駅に次いで難しかったと思えたからだ。



森林公園への路、森林公園管理事務所、平山への路



長い滝、平山、朝倉商店



ダムを横切る橋、新改駅への案内板、やっと踏破した”新改駅”

⑤新改駅からは再度山道を下った先に土佐山田駅があった。もし、土佐山田駅から新改駅に向かうならば、上り坂で大変ではあるが道筋は比較的簡単であると思われた。しかし、新改駅から繁藤駅への道筋は大変。しかも上り坂なので、相当のエネルギーを消耗しただろう。新改駅は繁藤駅から攻略して大正解であった。土佐山田駅への途中、小学校6年の修学旅行や家族旅行にて30年位前観光で訪れた龍河洞の案内板が目についた。



自分を鏡で捉える、四国電力、ビニールハウス（両親の苺栽培を思い出す）



土佐山田駅への路、土佐山田駅

⑥土佐山田駅から後免までは、ほぼ鉄道に沿って各駅舎があった。平坦な道筋ではあったが、山道とは異なり日影がなかったので、別のエネルギーを消耗した。



土佐西町駅、土佐長岡駅、後免駅



後免駅、高知駅

⑦高知商業前駅から高知までは路地歩きを楽しむ。



高知商業前駅、旭駅、円行寺口駅



入明駅、高知駅前通り、ホテル No. 1 高知

詳細な歩きの模様は次の通り。

昨日と同様、高知駅のシャッターが開くや否や駅構内に入る。また、列車の中にてコンビニで買ったおにぎりで朝食とする。このような状況は、これまでのウォーキングで初めての経験であった。少しうす暗い中、大杉駅を5時26分スタート。5時33分、高知まで33 km地点を通過。その先にファミリーマートがあった。この界限は穴内川がほぼ目線の先にあった。5時43分、大豊郵便局があり。5時47分、日本一の杉が界限にある道の駅大杉で体調を整える。5時54分、1605mある大豊トンネル(2747歩)前に到達。6時18分、50m先に492mある一の瀬トンネル(823歩)がある。6時28分、温度計は21℃であった。6時31分、高知35 km、南国25 kmと記した道路標識前を通過。6時43分、大豊町板木野を通過。6時51分、とさでん交通甲茂バス停前を通過。6時59分、板木野洞門前(382歩)に到達。96歩歩いて再び洞門(168歩)。洞門ではなく、外の歩道を歩く。7時11分、国道32号線で高知まで32 km地点を通過。7時15分、土佐北川駅の看板から階段を歩き、橋を渡る。駅舎は川の上にあった。川を渡り、土佐北川駅(7時21分)を出る。橋の上にある駅舎はこのまれまでのウォーキングの中で初めて。コストを要する駅舎と推察された。7時26分、北川口橋(穴内川:66歩)を渡る。丁度橋を上り特急が通過して行く。高知まで31 km地点で青空が見えて来る。大豊町馬瀬という地名であった。7時46分、高知30 km、南国20 km地点に到達。8時1分、83歩ある赤い橋を渡る。8時7分、角茂谷踏切を横切る。8時10分、角茂谷(かくもだに)駅に到着。駅舎には高知線の歌があった。

中山登喜男 作詞
岡村 浩 補修
マンガン硫黄礦や木材に
天坪村の名もたかく
蕨（わらび）狩りゆく角茂谷
穴内川の清らかに
昭和7年7月

同じ道にもどり、8時18分国道に合流。対岸には香川建設の駐車場から角茂谷駅（8時22分）が見える。11時2分、602mある戸手野トンネルがある。このトンネルを通らなかったため、遠回りとなる。8時42分、サングラスを着用する。8時52分、大豊町から香美市土佐山田町となる。9時1分。災害があった記念碑前を通過。9時11分、繁藤駅に到着。

ここから、昨日教えて頂いた森林公園を經由して、県道254号線（繁藤西町線）を歩き新改駅を目指すことにする。9時53分、森林組合の事務所にも立ち寄り、新改駅への路を聞く。交番の奥様に聞いて土佐山田町平山までは。幾つかの山を下り下りで心地よい森林をスイスイと進むことができる。何台かの車と対面する。余り人の気配がしない県道であった。途中、木々の名前の看板が至ところにある。10時43分、民家が見える平山に到着したところ、上るか下るか迷う。誤って上りを選んで300m位進むが行き止まりとなる。困りは民家にお尋ねして、新改駅への道筋をお伺いする。「この路を下り、朝倉商店先のダムを通過し、真っ直ぐ山道を進んだ先にあります」と丁寧に教えて頂く。私の帽子を見るなり、エールも頂く。感謝感激。15分位ロスタイムが生じる。しかし、先程教えてもらった道筋には分岐点があり、右往左往と何度も立ち止りナビで道筋を確認もしたが、それでも不明な箇所が生じた。地元の人に人の応援により、やっと11時36分、朝倉商店前に到達。復興記念碑もあった。ダムを越える109歩ある橋を渡る。その先を直進し、山道を上り、新改駅には11時56分到着。山の頂上にあった。12時13分、土佐山田駅方面に繋がる交差点に戻る。ここからは道なりに歩く。12時37分、橋を渡る。ここから真夏のウォーキングとなる。12時31分、四国電力前を通過。13時4分、ビニールハウスがある。13時8分、川を渡る。13時11分、新改保育園前を通過。13時13分、○原神社前を通過。13時15分、香長小学校前を通過。13時21分。土佐山田ゴルフ倶楽部の看板あり。13時34分、泰山公園があり。13時56分、香美市立山田小学校前を通過。14時、龍河洞の看板がある土佐山田駅に到着。セブンイレブンもあった。14時6分、恵比寿神社前通過。直後ボールペンをロストする。14時9分、高知銀行あった。14時10分。国分寺別院大聖寺前を通過。14時21分、山田西町に到着。14時32分、ローソンでボールペンとアイス購入。14時43分、南国市となる。線路に沿った路筋を歩き、15時2分、土佐長岡駅に到着。とさでん交通の長

岡駅前バス停もあった。15時20分、学校校舎前を通過。15時21分。食料等の佐野屋があった。15時24分、土佐くろしお鉄道の線路下を潜る。15時27分、後免駅に到着。この駅には先程の土佐くろしお鉄道の後免駅のホーム（1番ホーム）もあった。一部JRとの併用もしていた。

15時50分の列車で高知、そこから須崎行の16時19分初の列車で高知商業前駅へ。16時32分、高知商業前駅に。ここから路地歩きをして、高知駅を目指す。16時35分、第1杓（しゃく）田踏切を横切り、鉄道の右側となる。16時39分、KSO（世界のコーヒ）の建物がある。16時45分、中津神社前を通過。16時47分、高知市立旭小学校前を通り、国道に出る。16時57分、市電と対面。16時58分イオンがあった。紆余曲折しながら、17時10分、旭駅に到着する。丁度列車がやって来る。小高い丘を右手にして歩く。17時17分、北川踏切を横切り、鉄道の左側となる。17時43分、円行寺口駅に到着。高架した線路下を歩き、入明駅には18時到着。そして、高知駅には18時22分到着。8月6日のリベンジかない嬉しい瞬間であった。ホテル到着は18時45分。営業キロ33.7kmを達成。万歩計で71,308歩だった。

高知駅に到着した時は、満足また満足で一杯。有言実行したご褒美として、ホテルの近くの屋台で祝杯をあげる。その5（大歩危～阿波池田）に続く。



杓

高知駅前（窪川～大歩危まで繋がる）

第6節 5日目：8月9日（金）：大歩危～阿波池田 晴れ



ホテルにて、しまんと2号（高知駅）



大歩危駅

2019年8月5日（月）から始まった5日目の最終日（8月9日）は、大歩危駅から阿波池田駅までの21.6kmに挑戦する。今日も昨日に引き続き真夏のウォーキングとなった。昨日に引き続き、高知駅4時51分発の「しまんと2号（高松行き）」で大歩危駅まで移動する。大歩危から阿波池田までの駅舎に立ち寄った時刻は次の通り。本日は夕方高松市内にある瓦町駅で友人に会う関係で、阿波池田駅には少なくとも13時位までには到着が要求され、旅を楽しむ他に時間との戦いがあった。

大歩危（5:48）～小歩危（7:31）～阿波川口（8:55）～祖谷口（9:41：いやぐち）～三縄（11:14）～阿波池田（12:27）

今日も早め早めの行動で臨み、見事時間内に大歩危から阿波池田までのすべての駅舎の立ち寄りに成功する。本日の歩きを通じて感じたのは次の通り。

2時半位に起床し、本日に仕上げに臨む。シャッターが4時半開くや否や高知駅に入る。1番ホームにはしまんと2号が停まっていた。4時41分、誰もいない車両の中で記念写真。うとうとしながら、大歩危駅まで向かう。改めて、大歩危駅前を種々のアングルから撮影し、小歩危駅を目指す。

一昨日は大歩危から土佐岩原にかけて、観光地は余りなかったが、その好対照で大歩危から小歩危にかけて、随所に観光地やホテルがあった。5時59分、安瀬地橋を渡る。6時4

分、高松まで 78 km地点を通過。6 時 7 分、四国交通赤野バス停前を通過。6 時 9 分、今回強く印象に残った一つの妖怪屋敷前を通過。竜神と乙姫の像があった。



妖怪屋敷、竜神と乙姫

6 時 10 分、ゴムボートの乗り場があった。6 時 11 分、大歩危国指定天然記念物前を通過。6 時 14 分、赤い藤川橋を渡る。近くにはホテルがあった。6 時 19 分、大歩危舟下り乗り場前を通過。大歩危遊覧船の案内板もあった。6 時 21 分、「岩に題一/天下第一/歩危の○」と記した石像前を通過。6 時 29 分、景観な大歩危をゲット。その先に「国定公園大歩危」の石像があった。近くに「剣山国定公園/大歩危」の看板があった。これまで大歩危と剣山が密接な関係があるとは。また、大歩危は高知県と思っていた。四国出身の人間として恥ずかしい限りだ。いい勉強をさせて頂いた。6 時 36 分、高松まで 76 km地点に到達。6 時 48 分、堂床（どうとこ）バス停前を通過。6 時 50 分、高松まで 75 km地点に到達。涼しい中を進む。6 時 54 分、観光センター前を通過。近くに相当高度な技術が要求されるアスレチック広場がある。7 時 1 分、大歩危洞門（143 歩）前に到達。



鶴来山国定公園大歩危

7時6分、小歩危狭看板前を通過。7時13分、小歩危郵便局前を通過。小歩危7時21分、いつの間にかJR線が左手となる。7時26分、坂を上る。7時31分、小歩危駅に到着。急な階段を下りて、国道32号線に戻る。小歩危駅は幹線道路から20m位上がった先にあった。7時39分、小歩危狭バス停前を通過。7時40分、高松まで72km地点に到達。7時42分、左手にJRトンネルがあり。7時46分、国定公園小歩危と記した石像前を通過。7時49分、小歩危第二洞門(93歩)前に到達。38歩歩いて小歩危第一洞門(65歩)があった。7時53分、高松71km、琴平42kmと記した道路標識前を通過。7時56分、左手に鉄橋があり。白川橋と表示あり。7時59分、とびの巣狭標識前を通過。8時白川バス停前を通過。8時12分。高松60km地点を通過。その先に対岸に渡る狭い国政片栈道橋があった。8時30分頃、サングラスとタオルを着用する。8時33分、この辺りから国道と32号線の間1m位の隙間の場面が登場する。8時47分、左手に田尾城址等を記した標識がある。8時51分、高松67km、池田12kmの地点を通過。本来ならば、ここで左折し線路沿いに歩く必要があったと後程わかる。



小歩危駅



それ故、阿波川口駅(8時55分)への立ち寄りには道路からの写真となった。この時程、20m位の距離を長く感じたことはない。阿波川口駅前に立ち寄る試みをしたが、歩いても歩いても、国道32号線の左手には鉄道、右手には吉野川が続いており、鉄道を横切る路は全くなし。しかも、橋桁にある32号線と鉄道の間には50cm位の隙間があった。それでやむを得ず駅前に立ち寄ることを断念する。9時1分、山城町大川持という地目を通過。9時15

分、鉄道と国道はくつつく。9時17分、角見の郷通過。9時21分、吉野川でボートを発見。9時30分、黒沢温泉へのブルーの祖谷口橋前を通過。近くに祖谷口橋のバス停があった。9時36分、高松市64km、三好市9kmの道路標識前を通過。



土佐川口駅への路、土佐川口駅、土佐川口駅への路なし

祖谷口駅（9時41分着）への道筋は暑くなったので、タオルに水を浸す機会を伺うが、まったく水道施設とは対面せず。それ故、暑くなったペットボトルの水で代用する。最初は熱く感じたが、暫くすると心地よい気分となる。この駅も32号線から少し上がった先にあった。駅前の自動販売機で水分補給した直後、私の帽子を見るや否や年配のご婦人から激励のメッセージを頂く。「頑張っていますね。日本縦断やら1万キロ達成とは凄い。どこから来たのですか」と。「私は香川出身で、現在神奈川に住んでいます。今朝は大歩危から来ました。これから阿波池田に向かって歩きます」と。「暑いので熱中症にはならないで頑張って下さい」と。嬉しい至福のひと時であった。



祖谷口駅

10時11分、右手下に吉野川に沿って鉄道が続く。10時19分、JR線を道路下で横切る。10時21分、高松まで62km地点を通過。10時32分、道路下に対岸に向かう鉄道を横切る。ここから、吉野川を横切る次の橋まで遠かった。10時38分、大谷川の表示があった。その先に高松まで61km、池田まで6km地点を通過。10時44分、三好市池田町に入る。10時53分、高松まで60km地点を通過、11時1分、やっと三好橋バス停に到達。

三縄駅への路筋、吉野川を渡るグリーンの三好橋まで遠かった。歩いていても歩いていても到着できず。橋を渡り、吉野川に沿って10分位戻った先に三縄駅（11時14分着）があった。

駅舎には阿波踊りのポスター（8月14日～8月16日）があった。途中、内田医院があった。11時25分、中西というバス停を經由し、橋の袂まで戻る。ここから吉野川、鉄道、268号の幹線道路がほぼ並走して続いていた。それ故、概ね阿波池田駅まで花道を歩くことができた。水道施設がないので、熱くなったペットボトルの水を活用し、タオルにぶっかける。11時55分、馬谷バス停前を通過。11時58分、32号線で高松まで57km、92号線で徳島75km地点に到達。



遠かった橋、三繩駅

阿波池田は四方山に囲まれた盆地の中にあつた。12時19分、池田高校への看板前を通過。数十年前甲子園で活躍した蔦監督の率いる池田高校を思い出した。阿波池田駅（12時27分着）は商店街を通り抜けた先にあり。美味しい具合に12時半頃到着したので、商店街にあるうどん屋に立ち寄り昼食とする。ビールを飲みながらの“ざるうどん”は、最高の昼食となった。本日の営業キロは21.6km、万歩計で48,378歩であつた。時間通りに阿波池田駅に当確できホットする。4泊5日で予定の須崎からお阿波池田までの124.8kmをすべての駅舎に立ち寄りに成功し、嬉しい限り。これも天や神のご加護に加え、地元の人々の応援により達成でき感謝また感謝。



阿波池田駅



阿波池田商店街

阿波池田駅からは南風 14 号で琴平駅へ。まとめ編に続く・・・。

<まとめ>



琴平までの乗車券と特急券、阿波池田駅、琴平駅

第7節 まとめ

2019年8月5日（月）から始まる土讃線つたい歩き歩きは、8月9日（金）阿波池田駅にて閉幕。今回の歩きで土讃線（多度津～窪川：営業キロ 198.7 km）のうち、窪川から阿波池田までの 152.8 kmが繋がった。次回は土讃線の踏破（阿波池田～多度津：45.9 km）と徳島線（阿波池田～徳島：74.0 km）を踏破したいと夢膨らむ。



琴平駅、琴電琴平駅



高松琴平電鉄/琴電琴平駅

予定通り、南風 14 号で私の実家がある香川県へ。琴平駅には 8 月 9 日（金）、13 時 45 分到着。数分歩いて、高松琴平電鉄琴平線で高松市の中心街にある瓦町に移動する。ホテル No. 1 高松で汗を流した後、小休止して街道歩きの達人高野光生氏とお会いし、1 年振りの再会にて積もり話で盛り上がる。



一次会と二次会 2019 年 8 月 9 日（金）

高野氏とは3年前函館本線の桔梗駅界隈の赤松街道で偶然にもお会いし、それ以来親しくさせて頂いている。私の歩き鉄とはアングルが異なるが、彼氏も2017年、街道歩きを繋げて日本縦断を達成した人物なのだ。インターネットで探して頂いた土佐料理の店で、日本縦断達成、1万キロ達成、今回の歩きなどに乾杯し、積もり話で花が咲く。その中で、「歩き鉄1万キロでギネス登録に挑戦したが、カテゴリーなどから登録までには届かなかつた」も会話の中に登場。また、「今後の歩きは1万2千345kmではなく、分かりやすい数値である1万5千キロに上方修正した方がいいのでは」の話も。それ故、今後目標を改める旨の話も。あっと間に楽しいひと時が過ぎ去る。



家内と合流、大窪寺 2019年8月12日(月)



実家

ホテルで家内と合流し、実家を拠点として、墓参り、親戚まわり、88番目札所大窪寺の参拝などして今回の旅は閉幕となる。充実した楽しい九日間の旅であった。8月13日(火)のぞみ24号で自宅へ。



連絡船うどん（高松駅）、岡山駅